

第5回計算数理工学コンファレンス (CTEC2005) プログラム

| 6月24日(金) | 会場:名古屋大学VBS(http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/) | | 主催:日本計算数理工学会 (JASCOME), 共催:日本シミュレーション学会 |
|-------------|--|---|--|
| 時間 | セッション名/司会者 | 論文題目 | 著者(講演者には○) |
| 9:30-9:40 | 開会の挨拶 | | 田中 正隆(信州大学) |
| 9:30-10:30 | セッション「BEM-1」 司会 阿部 和久(新潟大学)/高橋 徹(理化学研究所) | 見かけの固有振動数の影響を除いた音場の新しいBEM解析法(半無限2次元場での検討) | 田中 正隆(信州大学),松本 敏郎(名古屋大学),○荒井 雄理(信州大学大学院) |
| | | 高速多重境界要素法を用いた複合材料の弾性波動解析 | ○斎藤 隆泰(東京工業大学大学院),永井 浩二(東京工業大学大学院),廣瀬 壮一(東京工業大学) |
| | | Application of Quasi Two Dimensional BEM Analysis in Ultrasonic Immersion Testing | ○Rwannate Tharmmapornphilas(Tokyo Institute of Technology), Sohichi Hirose (Tokyo Institute of Technology), Razuyuki Nakahata (Ehime University) |
| 10:40-12:00 | セッション「BEM-2」 司会 福井 卓雄(福井大学)/吉川 仁(京都大学) | Accelerating multi-domain hybrid boundary node method with fast multipole method | ○Jianming Zhang(Shinshu University), Masataka Tanaka (Shinshu University), Morinobu Endo(Shinshu University) |
| | | 圧電材料の境界要素法による3次元定常振動解析の効率化 | 松本 敏郎(名古屋大学),田中 正隆(信州大学),神谷 恵輔(名古屋大学),鮫島 悠之(ISOWA) |
| | | A two-dimensional BEM analysis for dynamic stress intensity factor computation of anisotropic piezoelectric solid with a finite crack | ○Alan T. Tan (東京工業大学大学院), Sohichi Hirose (東京工業大学) |
| | | 二重相反法を用いたメッシュレス局所境界積分方程式法によるはり・板の曲げ振動解析 | 神谷 恵輔(名古屋大学) |
| 13:00-14:00 | セッション「固体解析」 司会 植田 毅(千葉大学)/吉田 秀典(香川大学) | 非局所結晶塑性を考慮した均質化理論による多結晶塑性解析(粒界でのすべりの境界条件の影響) | ○奥村 大(名古屋大学),東 洋一(トヨタ自動車株式会社),大野信忠(名古屋大学) |
| | | 均質化理論による超細密プレートフィンの非弾性変形解析 | ○松田 哲也(筑波大学),大野 信忠(名古屋大学),猪狩 敏秀(三菱重工株式会社),赤松 聖文(名古屋大学大学院) |
| | | 中詰材に粒状体モデルを用いた鋼製組立網の変形解析 | ○阿部 和久(新潟大学),細谷 栄作(米沢市),古関 徹(共和ハーモテック) |
| 14:00-15:20 | セッション「解析技術」 司会 大野 信忠(名古屋大学)/小島 史男(神戸大学) | 軟岩におけるクリープモデルの提案と地下空洞のクリープ解析 | ○吉田 秀典(香川大学),野崎 郁郎(香川大学大学院),加藤 和之(東京電力),関根 裕治(東京電力),小山 俊博(東電設計),鈴木 康正(東電設計),金子 岳夫(東電設計) |
| | | 格子ボルツマン法による水平二流体の界面成長シミュレーション | ○吉野 正人(信州大学),増田 剛士(信州大学大学院) |
| | | 料金所ゲートの交通流シミュレーション | 玉城 龍洋(宇部高専),原 明美(名古屋大学),清水 光輝(名古屋大学),○北 栄輔(名古屋大学) |
| | | アハロフーボーム系の境界要素法 - グリーン関数の計算 - | ○植田 毅(千葉大学) |
| 15:40-17:00 | セッション「逆解析」 司会 廣瀬 壮一(東京工業大学)/荒井 政大(信州大学) | 動的応答を用いた骨組構造の損傷部材同定(実験計画法の適用) | ○田中 正隆(信州大学),向後 智弘(筑波大学第三学群) |
| | | 電磁非破壊検査に関する進化計算を用いた自然き裂モデルによる定量評価について | ○小島 史男(神戸大学),河合 信弘(神戸大学大学院) |
| | | ニューラルネットワークを用いた高分子材料物性のガラス転移温度(Tg)の予測と汎化能力について | ○近藤 康彦(SRB研究開発),和崎 克己(信州大学),師玉 康成(信州大学) |
| | | Green関数を用いた超音波励起レーザのソース同定 | ○吉川 仁(京都大学),西村 直志(京都大学) |
| 17:00-17:05 | 閉会の挨拶 | | 松本 敏郎(名古屋大学) |

注意: プログラムは都合により変更されることがあります.

|

|

|

